

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4170300398		
法人名	有限会社 サポート		
事業所名	グループホーム くのうえ		
所在地	佐賀県鳥栖市蔵上三丁目304		
自己評価作成日	令和3年3月13日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	令和3年3月29日	外部評価確定日	令和3年4月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

私たちは、質の高い介護事業を通じて、地域の皆様に安心して快適な生活を提供し、関わる全ての人々の幸せを実現します。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

住宅地の中にある事業所で、近隣の公園には桜など季節を感じることができる環境となっている。平成30年に、現在の有限会社サポートが、「質の高い介護事業を通じて、地域の皆様に安心して快適な生活を提供し、関わる全ての人々の幸せを実現します」の理念に基づき運営をされている。経口摂取が困難な利用者の家族が、「少しでも口から食べれば」との想いに対し、事業所で話し合い医療機関の指示の基に創意工夫を行い、多職種と協働でアイスクリームの摂取などに取り組み、想いに寄り添う介護の実現を目指している。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1階)	自己評価／ユニットB(2階)	外部評価	
			(事業所記入欄)	(事業所記入欄)	(評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎日、朝礼時に各自クレドカードを持参の上、経営理念と曜日ごとの行動理念を出勤者全員で斉唱し共有意識を高めている。その理念を理解し利用者の尊厳を重んじる言葉遣いを心掛け、サービスの質の向上につなげている。	毎日、朝礼時に各自クレドカードを持参の上、経営理念と曜日ごとの行動理念を出勤者全員で斉唱し共有意識を高めている。その理念を理解し利用者の尊厳を重んじる言葉遣いを心掛け、サービスの質の向上につなげている。	グループの理念があり、職員全員にクレドカードを配布し、いつでも理念を確認することができる。理念に基づき、事業所の目標を毎年立案し、運営に活かしている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍で、地域で開催されるイベントに参加ができていないが、子ども110番の駆け込み施設としての依頼を受け、近隣の方への挨拶は積極的に行っている。	コロナ禍で、地域で開催されるイベントに参加ができていないが、子ども110番の駆け込み施設としての依頼を受け、近隣の方への挨拶は積極的に行っている。	年に1～2回の除草活動に職員が参加されている。また、近隣の公園へ散歩に出かける際に地域の方とあいさつを交わすなどの交流はある。	地域との関わりが少なく、創意工夫が必要と思われる。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を通して定期的に地域の方たちに認知症の人の理解を促している。	運営推進会議を通して定期的に地域の方たちに認知症の人の理解を促している。	/	
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議には、ご家族様や民生委員様、行政からの参加もあり、その中で得られた意見や助言をサービスの質の向上に活かしている。	会議には、ご家族様や民生委員様、行政からの参加もあり、その中で得られた意見や助言をサービスの質の向上に活かしている。	現在、コロナ禍において運営推進会議は紙面での報告が基本となっている。以前は、区長、地域包括支援センター、家族が参加され、参加できない家族には議事録を郵送し内容の周知に努められていた。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1階)	自己評価／ユニットB(2階)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	広域連合や地域包括支援センターの担当者とは気軽に相談できる関係にあり、情報交換や課題解決の為に相談を行いサービスの質の向上に取り組んでいる。	広域連合や地域包括支援センターの担当者とは気軽に相談できる関係にあり、情報交換や課題解決の為に相談を行いサービスの質の向上に取り組んでいる。	事業所で悩むことがあれば、地域包括支援センターなどに意見を求め、解決できるように相談している。利用者の入居などにおいても紹介等を受けることもある。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会があり、三か月に一回勉強会を開催しており、玄関の施錠も夜間の防犯上の観点での施錠しか行っておらず、職員一丸となって、廃止に向け取り組んでいる。	身体拘束廃止委員会があり、三か月に一回勉強会を開催しており、玄関の施錠も夜間の防犯上の観点での施錠しか行っておらず、職員一丸となって、廃止に向け取り組んでいる。	身体拘束の事例はなく、定期的に研修会が行われている。事故防止の観点から人感センサーを使用し取り組まれている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束廃止委員会で、三か月に一回勉強会を開催し、職員個々の周知確認の為研修報告書の提出を促し、利用者の人権を尊重したケアが行われているか検討し防止に努めている。	身体拘束廃止委員会で、三か月に一回勉強会を開催し、職員個々の周知確認の為研修報告書の提出を促し、利用者の人権を尊重したケアが行われているか検討し防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護や成年後継人制度において、研修にも積極的に参加し、理解や必要性に応じて関係者と連携を図り支援していく。	権利擁護や成年後継人制度において、研修にも積極的に参加し、理解や必要性に応じて関係者と連携を図り支援していく。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際、利用契約、同意書を用いて十分な説明を行っている。不安や疑問点を尋ね理解し納得して頂くよう努めている。	契約の際、利用契約、同意書を用いて十分な説明を行っている。不安や疑問点を尋ね理解し納得して頂くよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1階) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2階) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	半年に一回ご家族向けのアンケート用紙を送付し結果を運営推進会議で開示している。また、施設玄関にご意見箱を設置して、利用者や家族の面会時等の意見も要望に沿えるよう対応を行っている。	半年に一回ご家族向けのアンケート用紙を送付し結果を運営推進会議で開示している。また、施設玄関にご意見箱を設置して、利用者や家族の面会時等の意見も要望に沿えるよう対応を行っている。	半期毎に家族にアンケートを実施し評価は高い。意見箱は設置されているが投函されることはなく、面会時など日常の会話より意見を反映している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	施設会議を毎月1回開催し、代表者や管理者は職員の意見を聴取している。個別面談を実施し、随時意見や提案を聞く機会を設け反映している。	施設会議を毎月1回開催し、代表者や管理者は職員の意見を聴取している。個別面談を実施し、随時意見や提案を聞く機会を設け反映している。	グループの代表者が月1回の会議に参加し、職員の声を直接聞くことで風通しの良い環境となっている。また、グループの管理者が意見交換できる機会も設けられ、事業所を超えグループ全体でより良い環境へと改善していくように取り組まれている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	アットホームで働きやすい環境作りを心掛け、職員の希望も盛り込みシフトの作成も行っている。給与に関しては、資格に応じた手当や頑張った職員に反映される評価制度を取り入れ、誰でも昇給昇格ができるように努めている。	アットホームで働きやすい環境作りを心掛け、職員の希望も盛り込みシフトの作成も行っている。給与に関しては、資格に応じた手当や頑張った職員に反映される評価制度を取り入れ、誰でも昇給昇格ができるように努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的に社内研修、毎月一回事業所内で研修の機会を設け、職員一人ひとりが質の向上を目指すことができるようトレーニングを進めている。	定期的に社内研修、毎月一回事業所内で研修の機会を設け、職員一人ひとりが質の向上を目指すことができるようトレーニングを進めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域で開催される研修に参加し、同業者と交流できるような機会をつくっている。同グループ会社の同業者とも、月一回開催される地区会議や電話や訪問で意見交換しサービスの質の向上に向けて取り組んでいる。	地域で開催される研修に参加し、同業者と交流できるような機会をつくっている。同グループ会社の同業者とも、月一回開催される地区会議や電話や訪問で意見交換しサービスの質の向上に向けて取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1階)	自己評価／ユニットB(2階)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者一人ひとりの担当を決め、信頼関係づくりに努めている。また、アセスメントを取りながら思いや要望を傾聴することでご本人の安心を確保する関係作りに努めている。	利用者一人ひとりの担当を決め、信頼関係づくりに努めている。また、アセスメントを取りながら思いや要望を傾聴することでご本人の安心を確保する関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談や見学時に、家族が困っていることや不安、要望などに耳を傾け、納得して安心していただけるよう説明を行う。	相談や見学時に、家族が困っていることや不安、要望などに耳を傾け、納得して安心していただけるよう説明を行う。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談受付時に、ご本人の機能面、生活面、経済面での情報を把握し、ご本人に合ったサービスが利用できるよう他事業所のとも連携をとっている。	相談受付時に、ご本人の機能面、生活面、経済面での情報を把握し、ご本人に合ったサービスが利用できるよう他事業所のとも連携をとっている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の能力に応じて、職員と一緒に洗濯物をたたんでもらったり食事の用意をしてもらったり、役割を持ってもらっている。コミュニケーションを図り、心身状態の変化に配慮を行い、楽しく安心した暮らしを送る事ができるよう支援を行っている。	本人の能力に応じて、職員と一緒に洗濯物をたたんでもらったり食事の用意をしてもらったり、役割を持ってもらっている。コミュニケーションを図り、心身状態の変化に配慮を行い、楽しく安心した暮らしを送る事ができるよう支援を行っている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月本人の心身状況報告や面会などでご家族様の思いや近況などを伺い、本人と家族の絆を大切にしながら共に支えていく関係を築いている。	毎月本人の心身状況報告や面会などでご家族様の思いや近況などを伺い、本人と家族の絆を大切にしながら共に支えていく関係を築いている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1階)	自己評価／ユニットB(2階)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時には気兼ねなく過ごせるよう居室で過ごしてもらっていた。個別レクにて馴染みの場所に外出を行うなどの支援に努めていく。	面会時には気兼ねなく過ごせるよう居室で過ごしてもらっていた。個別レクにて馴染みの場所に外出を行うなどの支援に努めていく。	利用者の希望に沿い、バスハイクなども行われている。家族対応であれば外出、外泊は自由にでき、面会も9:00～17:00となっているが、臨機応変に対応することができる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりの性格に配慮した席割を行い気の合う人との関わり合いが増えるような支援に努めている。	一人ひとりの性格に配慮した席割を行い気の合う人との関わり合いが増えるような支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても、問い合わせ等により相談や支援ができるよう努めている。	契約が終了しても、問い合わせ等により相談や支援ができるよう努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個別にゆっくりと向き合える時間を設け、ご本人の希望や思いを把握するよう努めている。意思の疎通が困難な場合は、ご家族様に相談し、ご入居者様本位に検討している。	個別にゆっくりと向き合える時間を設け、ご本人の希望や思いを把握するよう努めている。意思の疎通が困難な場合は、ご家族様に相談し、ご入居者様本位に検討している。	日常の会話より職員が汲み取るようにしている。個々の要望も大切にされているが、利用者同士の会話の中で意見を述べやすい環境を作り出し意向を把握している。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1階) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2階) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	面会時にご本人様やご家族様に聞き取りを行い、これまでの暮らしの把握に努めている。	面会時にご本人様やご家族様に聞き取りを行い、これまでの暮らしの把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の有する能力や、会話の中での傾聴、毎日の観察を行いながらニーズを引き出し介護計画に反映が出来るよう、一人ひとりの現状把握に努めている。	利用者の有する能力や、会話の中での傾聴、毎日の観察を行いながらニーズを引き出し介護計画に反映が出来るよう、一人ひとりの現状把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画期間に応じ定期的に見直しを行っており、ご本人様やご家族様と話し合いそれぞれの意見やアイデアを反映し現状に即した介護計画書が作成できるよう努めている。	介護計画期間に応じ定期的に見直しを行っており、ご本人様やご家族様と話し合いそれぞれの意見やアイデアを反映し現状に即した介護計画書が作成できるよう努めている。	担当制により、モニタリングやアセスメントを基にケアプランを作成する。事前に本人や家族の要望を聞き、ケアプランに反映させている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護計画に沿った援助内容や見直すポイントを記入し、定期的カンファレンスを行い実践や介護計画の見直しに活かせるように評価を行っている。	介護計画に沿った援助内容や見直すポイントを記入し、定期的カンファレンスを行い実践や介護計画の見直しに活かせるように評価を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者の急な通院介助、買い物代行、居室内の清掃や衣類の補充など必要に応じて柔軟な対応を行っている。	利用者の急な通院介助、買い物代行、居室内の清掃や衣類の補充など必要に応じて柔軟な対応を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1階)	自己評価／ユニットB(2階)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のイベント行事に機会があれば積極的に参加していく。利用者一人一人が楽しく刺激のある生活を送れるように考えていく。	地域のイベント行事に機会があれば積極的に参加していく。利用者一人一人が楽しく刺激のある生活を送れるように考えていく。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者は希望される医療機関や事業所の提携医を主治医にされ、24時間対応の往診を受けている。事業所はそれぞれの主治医と良好な関係にあり、適切かつ迅速に医療を受けられるように支援を行っている。	利用者は希望される医療機関や事業所の提携医を主治医にされ、25時間対応の往診を受けている。事業所はそれぞれの主治医と良好な関係にあり、適切かつ迅速に医療を受けられるように支援を行っている。	協力医療機関以外の受診も可能で職員が対応するが、可能な限り家族にも同席して頂き利用者の現状を理解していただくように努められる。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員に状況報告を行い、常に指示や助言を受けられるように支援を行っている。	看護職員に状況報告を行い、常に指示や助言を受けられるように支援を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力医療機関が多数あり、入院時の付き添いや面会等で医療機関との情報交換や相談に努め安心して治療を受けられるように支援を行っている。	協力医療機関が多数あり、入院時の付き添いや面会等で医療機関との情報交換や相談に努め安心して治療を受けられるように支援を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1階)	自己評価／ユニットB(2階)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	事業所としては、終末期ケアに取り組んでおり、ご入居様が重度化した場合のあり方については、ご家族様と早い段階から話し合いを行い事業所で出来る事を十分に説明しながら方針を共有している。	事業所としては、終末期ケアに取り組んでおり、ご入居様が重度化した場合のあり方については、ご家族様と早い段階から話し合いを行い事業所で出来る事を十分に説明しながら方針を共有している。	看取りの実績はないが、訪問サービスと協力しながら看取りが行える環境は整備されている。また、看取りの研修を予定され職員の質の向上を目指されている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故発生時に備えて、緊急時対応の研修を行ったり、手当や対応のマニュアルを作成し職員全員に周知し閲覧できるようにファイリングしている。	事故発生時に備えて、緊急時対応の研修を行ったり、手当や対応のマニュアルを作成し職員全員に周知し閲覧できるようにファイリングしている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、防災訓練を今後計画し、地域の方にも参加もして頂けるよう、声掛けを行うとともに災害時のマニュアルも整備している。	年3回、防災訓練を今後計画し、地域の方にも参加もして頂けるよう、声掛けを行うとともに災害時のマニュアルも整備している。	消防訓練を実施されているが、今後は地域の消防団が参加できるように区長と話し合いをされている。また、近くの河川も改修工事を行われており、水害が発生した際には垂直避難を行い、グループ内の他施設からの応援体制も整備されている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員は、接遇マナーやプライバシー保護の研修に参加し、利用者一人ひとりの人格を尊重し、常に笑顔で心から接する。ご本人の誇りやプライバシーを損なうことのない対応や言葉かけを行うよう心掛けている。	職員は、接遇マナーやプライバシー保護の研修に参加し、利用者一人ひとりの人格を尊重し、常に笑顔で心から接する。ご本人の誇りやプライバシーを損なうことのない対応や言葉かけを行うよう心掛けている。	接遇やプライバシーにおける研修に全社員が参加し、レポートを提出し意識を高めるようにしている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1階)	自己評価／ユニットB(2階)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃からの会話の中で、その方の思いや要望に傾聴し、カンファレンス会議の際に職員全員で共有する。日常生活の中でも自己決定できるよう、動きを待った支援を行っている。	日頃からの会話の中で、その方の思いや要望に傾聴し、カンファレンス会議の際に職員全員で共有する。日常生活の中でも自己決定できるよう、動きを待った支援を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事や入浴の時間など、1日の大きな時間の流れはあるが、昼間ゆっくりとソファに座って会話したり体操したりと日中の活動時間を増やして、なるべく夜ぐっすり眠れるように支援している。	食事や入浴の時間など、2日の大きな時間の流れはあるが、昼間ゆっくりとソファに座って会話したり体操したりと日中の活動時間を増やして、なるべく夜ぐっすり眠れるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	第4月曜日には出張サロンがあり、利用者に確認を行い希望に沿った利用が行われている。またその他にも起床時や外出の際は蒸しタオルでの顔面清拭、整容に心がけている。	第4月曜日には出張サロンがあり、利用者に確認を行い希望に沿った利用が行われている。またその他にも起床時や外出の際は蒸しタオルでの顔面清拭、整容に心がけている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節やイベントに合わせたメニューを提供したり、入居者様のリクエストも取り入れるように心がけている。またお誕生日会や食レクではご入居者様のリクエストに応え全員で参加し実施している。	季節やイベントに合わせたメニューを提供したり、入居者様のリクエストも取り入れるように心がけている。またお誕生日会や食レクではご入居者様のリクエストに応え全員で参加し実施している。	セントラルキッチンを整備されグループ全体の食事を提供されている。外注とは違い、気づいた点は意見が反映できるようになっている。形態は、常食、刻み食、ミキサー食にて提供が可能。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分摂取量も日々記録をし健康管理に活かして、利用者の状態に合わせた食事形態でも提供するように心がけている。	食事や水分摂取量も日々記録をし健康管理に活かして、利用者の状態に合わせた食事形態でも提供するように心がけている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1階) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2階) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを実施している。利用者個々の有する機能に応じた声かけや歯磨きの介助、義歯洗浄口腔ケアを行い、訪問歯科との連携も図っている。	毎食後口腔ケアを実施している。利用者個々の有する機能に応じた声かけや歯磨きの介助、義歯洗浄口腔ケアを行い、訪問歯科との連携も図っている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄記録を記入し、個人のタイミングに合わせたトイレ誘導を行っている。また排便困難時にはトイレにて腹部マッサージを行い排便を促す環境作りを支援している。	個々の排泄記録を記入し、個人のタイミングに合わせたトイレ誘導を行っている。また排便困難時にはトイレにて腹部マッサージを行い排便を促す環境作りを支援している。	基本はトイレ誘導を行い、排泄パターンを把握し誘導している。現状では、ポータブルトイレを使用するのではない。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事は消化の良い物や調理に工夫して野菜が摂れる食事を提供している。なるべく水分補給ができるように、少し甘いドリンク等を提供することもある。午前中に体操、午後から歩行練習を行ったりしている。緩下剤での調整も行っている。	食事は消化の良い物や調理に工夫して野菜が摂れる食事を提供している。なるべく水分補給ができるように、少し甘いドリンク等を提供することもある。午前中に体操、午後から歩行練習を行ったりしている。緩下剤での調整も行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	ご本人の体調や気分を観察し、気持ちよく入浴できるような声掛けや促しを行っている。その日、入浴できない方も足浴や清拭で対応している。	ご本人の体調や気分を観察し、気持ちよく入浴できるような声掛けや促しを行っている。その日、入浴できない方も足浴や清拭で対応している。	入浴週2回、清拭週2回が基本となり、介護度が高い方にシャワー浴での対応となる。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1階)	自己評価／ユニットB(2階)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	自立度の高い方は、ご本人様の意思を尊重し見守りを行っている。ご本人で判断が困難な方は、職員がベッド臥床介助を行い休息の時間を設けるよう支援を行っている。	自立度の高い方は、ご本人様の意思を尊重し見守りを行っている。ご本人で判断が困難な方は、職員がベッド臥床介助を行い休息の時間を設けるよう支援を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	居宅療養管理指導の薬剤師より指導を受けたり相談したりと友好関係を構築している。職員が全員薬の情報を共有し、症状の変化については医療機関に情報提供しながら服薬の支援を行っている。	居宅療養管理指導の薬剤師より指導を受けたり相談したりと友好関係を構築している。職員が全員薬の情報を共有し、症状の変化については医療機関に情報提供しながら服薬の支援を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	掃除・洗濯物たたみや手芸等、それぞれ利用者の生活歴や趣味を活かした支援をしている。	掃除・洗濯物たたみや手芸等、それぞれ利用者の生活歴や趣味を活かした支援をしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近隣や敷地内散歩を支援している。普段は行けないような場所でも、ご本人様やご家族様のご要望をもとに行先を決め、外出や外食レクの企画で実現できるように支援を行っている。	近隣や敷地内散歩を支援している。普段は行けないような場所でも、ご本人様やご家族様のご要望をもとに行先を決め、外出や外食レクの企画で実現できるように支援を行っている。	外食レクなどは、意向を確認し外食先を検討されている。また、以前の生活歴より思い出の場所に外出するなど実践されている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金は職員管理しているが、買い物に出かけた際はレジにてご本人様が支払い出来るように支援を行っている。	お金は職員管理しているが、買い物に出かけた際はレジにてご本人様が支払い出来るように支援を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1階)	自己評価／ユニットB(2階)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人ご家族の希望に沿い、電話で話せるよう援助を行っている。毎月、利用者様の過ごし方など手紙にして家族の方にお知らせしている。今後、電話だけでなくリモートで話ができるようiPadを利用していく予定。	ご本人ご家族の希望に沿い、電話で話せるよう援助を行っている。毎月、利用者様の過ごし方など手紙にして家族の方にお知らせしている。今後、電話だけでなくリモートで話ができるようiPadを利用していく予定。	/	
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下は手すりを設置し安全性に配慮し、共用空間であるフロアはユニットの中心に設置され、窓の外の景観により季節が移り変わる様子が眺められるようになっている。フロアには空調や空気清浄機を設置し、室温や換気の調整を行い常に快適に過ごしていただけるよう努めている。	廊下は手すりを設置し安全性に配慮し、共用空間であるフロアはユニットの中心に設置され、窓の外の景観により季節が移り変わる様子が眺められるようになっている。フロアには空調や空気清浄機を設置し、室温や換気の調整を行い常に快適に過ごしていただけるよう努めている。	室温に関しては、利用者の体調に合わせて調整を行うようになっている。1ユニットに4か所のトイレが設置され身体状態に応じて誘導される。リビングでは利用者同士がテレビを見ながら団らんでできる環境となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った利用者同士で過ごせる様、お互いの関係にも配慮したテーブル配置を行い、ソファも設置する事で、少し距離を置けるようにと皆様が思い思いに過ごせるような空間作りを行っている。	気の合った利用者同士で過ごせる様、お互いの関係にも配慮したテーブル配置を行い、ソファも設置する事で、少し距離を置けるようにと皆様が思い思いに過ごせるような空間作りを行っている。	/	
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に、ご家族の協力のもとご本人の思い入れのある物を置いて、いつもの馴染みのある部屋をつくり、安心して過ごせるような居室づくりを行っている。	入居時に、ご家族の協力のもとご本人の思い入れのある物を置いて、いつもの馴染みのある部屋をつくり、安心して過ごせるような居室づくりを行っている。	仏壇の持ち込みは禁止されているが、その他は自由に持ち込めるようになっており、ベッドや寝具は施設のほうで準備をされている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1階) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2階) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や 「わかること」を活かして、安全かつできる だけ自立した生活が送れるように工夫して いる	居室前には表札とトイレ入口にはト イレの表記をしている。廊下は、安 全に移動ができるように手すりを設 置している。	居室前には表札とトイレ入口にはト イレの表記をしている。廊下は、安 全に移動ができるように手すりを設 置している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)				
※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)			1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
		○	○	3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)			1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
		○	○	3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。			1. ほぼ全ての家族等が
		○	○	2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない